

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2024年 7月 12 日

(宛先)
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)
滋賀県甲賀市水口町笹が丘1番地14

氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)
トヨタ紡織滋賀株式会社
代表取締役社長 黒井 宣男

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項 → 第25条第4項
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項 の規定に基づき、
事業者行動計画を 策定 (変更)
事業者行動報告書を作成 したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	トヨタ紡織滋賀株式会社 代表取締役社長 黒井 宣男
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	滋賀県甲賀市水口町笹が丘1番地14

1 事業所の概要

事業所の名称	トヨタ紡織滋賀株式会社								
事業所の所在地	滋賀県甲賀市水口町笹が丘1番地14								
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	3	1	1	3	※ 産業分類・細分類名称を記載			
事業の概要	自動車部分品・付属品製造業								
従業員の数	250 人			操業時間		15 時間/日			
該当する事業者 の要件	☒ 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者								
	☐ 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者								
	☐ 任意提出事業者								
主要な設備	ボイラ	2	台	熱源設備		台	照明設備	177	台
	コンプレッサ	6	台	空気調和設備	13	台	その他	成形施設 12台	

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始 年度	令和4 年度	報告対象年度	令和5 年度
	終了 年度	令和6 年度		

3 計画の(内容・実施状況)

計画の (内容・実施状況)	別添のとおり
------------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

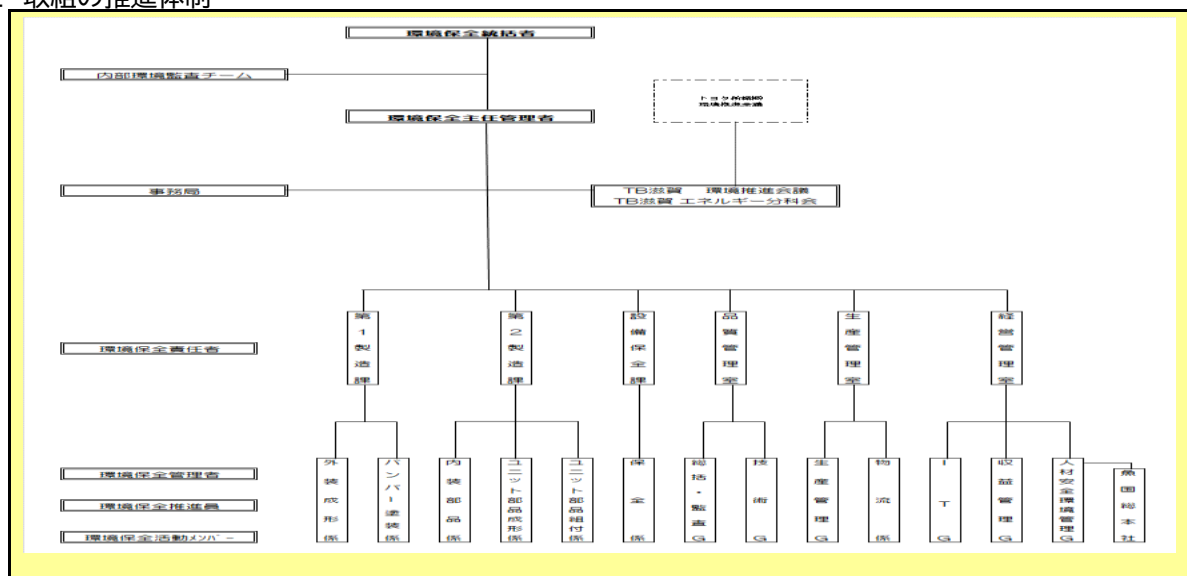
1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

1.環境に関する法規制・規制並びに当社の組織が同意したその他の要求事項を遵守すると共に、自動車部品等の生産活動により環境へ及ぼす影響を予測・評価・改善して目的・目標の確実な達成により環境保全の継続的向上に努めます。

2.生産に伴う環境汚染の未然防止のみならず省エネルギー推進、CO₂排出量削減、廃棄物低減、省資源等の環境技術の導入と改善活動を通じて、環境負荷を最小限にする様全員参加で取り組みます。

3.トヨタ紡織グループの社員としての誇りを持ち、一人ひとりが企業、社会の一員として地域社会との対話を大切にすると共に地域における環境保全活動に積極的に協力し、地域と調和のとれた工場づくりを目指します。

2 取組の推進体制

3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

トヨタ紡織グループ「2050年環境ビジョン」のもと、トヨタ紡織滋賀では「2030年 TB滋賀 環境 vision」を掲げております。

トヨタ紡織グループ2050年ビジョンに貢献することを目的に人財育成を土台に「省エネ」「廃棄物」「水」の3つの矢を軸にパフォーマンス向上し続けています。

1. 再生可能エネルギーの拡充において、PPAモデルと補助金を活用し太陽光発電設備の導入
1101.54kw(パネル3,338枚)の太陽光発電設備を導入(22年1月～運用中)
年間発電量:1,085,363kwh/年(22年度実績)、1,033,807kwh/年(23年度実績)

2. TB省エネ40アイテム及びTB滋賀独自の省エネ改善の推進

1)ICPを活用した老朽設備の省エネ部品更新

省エネタイプの盤クーラー、モーター、照明、空調機器(室外機、室内機)へ更新

2)環境道場を活用した全員の環境意識醸成

カーボンニュートラルの取組みを全員参加で推進すべく、環境道場では、実機を用いた
エア漏れ対応訓練。

省エネ感度を養う為に、動画をみて、エネルギーのムダを発見する訓練を教育しています。

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	太陽光発電設備の導入、運用	令和4年度～	導入済み、運用中
2	設備導入	冷却塔ファンのINV化による送風量ミニマム化	令和5年度～	導入済み、運用中
3	運用改善	空調システム タイマーによる自動制御システムの導入	令和5年度～	25年度導入、運用予定
4	設備導入	旧型モーター、省エネモーターへの更新	令和5年度～	継続して実施中
5	ポイント改善	バンパー塗装のロボット化に向けた活動推進	令和5年度～	27年度導入、運用予定

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1		無し		
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
トヨタ紡織グループ「2025年環境取り組みプラン」のもと、①日常改善②最先端・革新的技術の開発・導入③再生可能エネルギー導入といった取り組みを加速し、CO₂排出量2019年度比25%減を目標としています。 (総量で25%減) 2019年度 CO₂排出量:5,561t-CO₂/年(実績) 2023年度 CO₂排出量:4,549t-CO₂/年(実績) 2025年度 CO₂排出量:3,184t-CO₂/年(目標) 又、自社では総量だけでなく原単位(生産台数)評価を実施しています。 $\text{原単位} = \frac{\text{CO}_2\text{排出量}}{\text{生産台数}}$	22年度に導入した太陽光発電量による効果大。1,033,807kwh/年(23年度実績) 生産構成の変動によるエネルギーの使用に係る原単位悪化 ・エネルギー使用量の高い バンパ製品 (21年度実績)196,810台/年 (22年度実績)276,170台/年 (23年度実績)298,390台/年 1台当りのCO₂原単位:0.00365t-CO₂/台

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(R4)年度	(R5)年度	(R6)年度	(R7)年度	(R8)年度
原油換算エネルギー使用量	kL	2,352	2,569	2,238			
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	3,542	3,438	4,097			
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	3,542	3,438	4,097			
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂						
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
NF ₃	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移		0.931	0.858	0.959			

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	工場屋根への太陽光発電設備の新設	R4年度	R3年度施工完了、R4年度より本運用
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	蓄電池の導入、土日非稼働時の太陽光発電分を蓄電出来ないか検討を進める
2	バンパー塗装の塗装ロボット自動化に向けた活動取組み
3	ヒートポンプ、空冷式チラー導入を検討
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	1,102	kW	水力・小水力		kW	地熱		kW
太陽熱		kW	バイオマス		kW	その他 ()		kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績	・太陽光発電設備の導入(1101.54kwh)							

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(R4)年度	(R5)年度	(R6)年度	(R7)年度	(R8)年度
再エネ電気設備での発電量	kWh	#####	#####	#####			
上記のうち自家消費量	kWh	#####	#####	#####			